

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社
東証第二部 3799

IT can create it.

2015年3月期 第2四半期

決算説明資料



※ 本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

※ 掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

2015年3月期 第2四半期
決算概要

前年同期比で減収減益

(単位：百万円)

	2014年3月期 2Q	2015年3月期 2Q	前年同期比 (%)
売上高	7,973	7,253	△9.0
営業利益	173	△519	—
経常利益	134	△525	—
当期純利益	127	△566	—

■ 売 上

前年同期比で減収（△9.0%）

- ✓ 前年同期における特需との差分
- ✓ 不採算案件の対応による受注機会の損失
- ✓ クラウドサービスの普及や競争激化による受注額減少
- ✓ 一部開発案件の延期・凍結

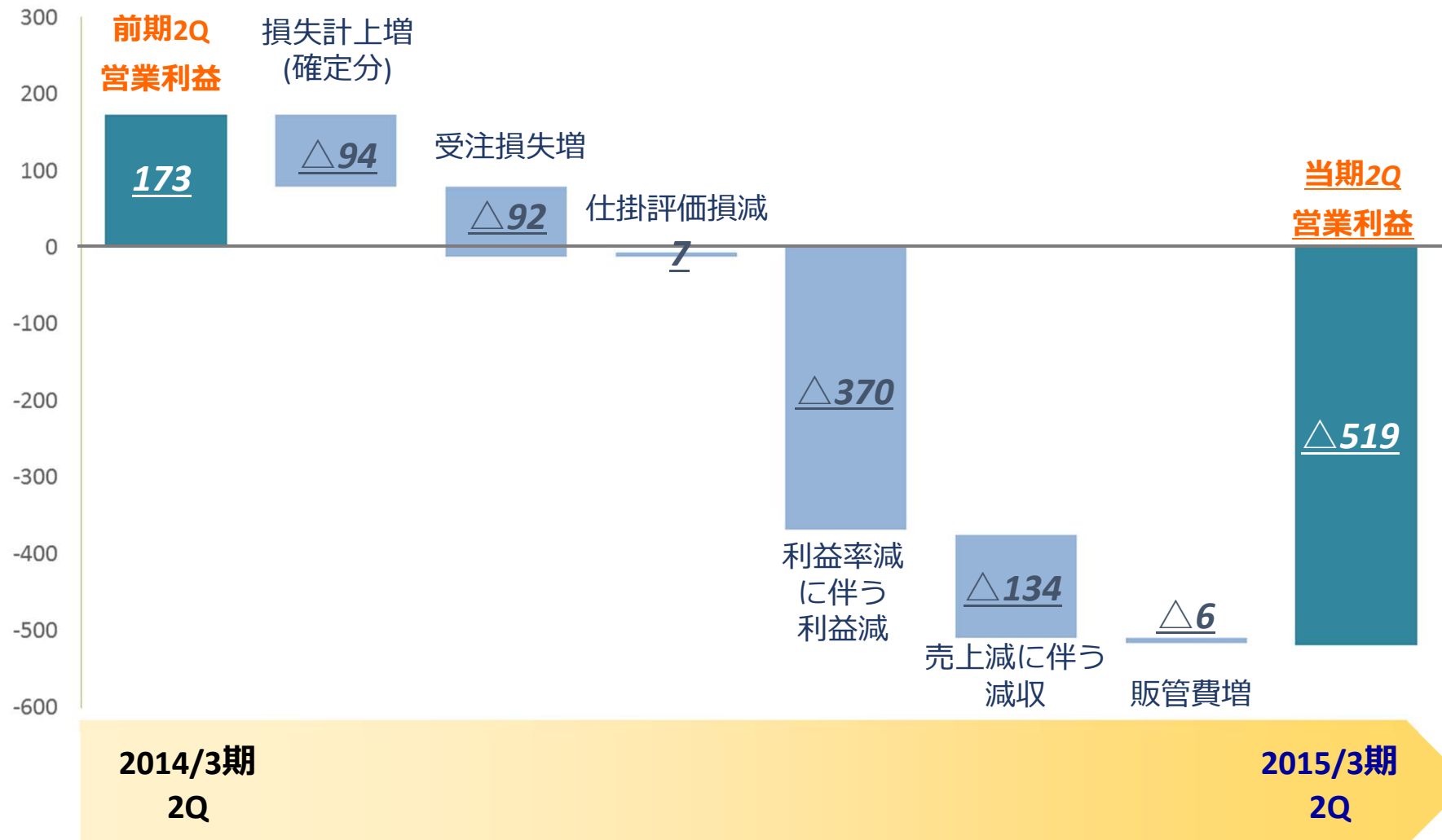
■ 損 益

売上減および製造原価増により損失

- ✓ 前期に受注した不採算案件の影響

営業利益変動要因

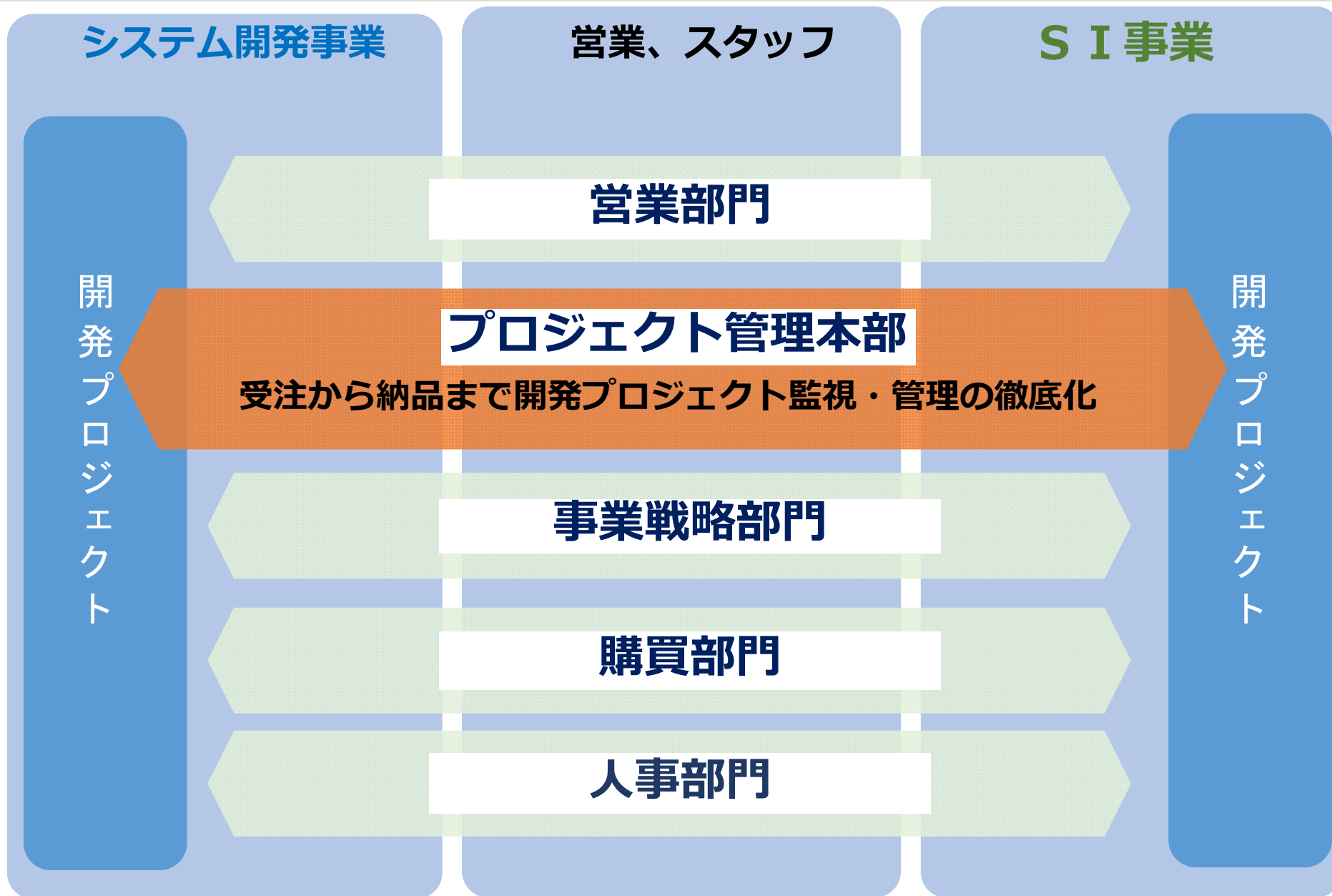
(単位：百万円)



2014/3期
2Q

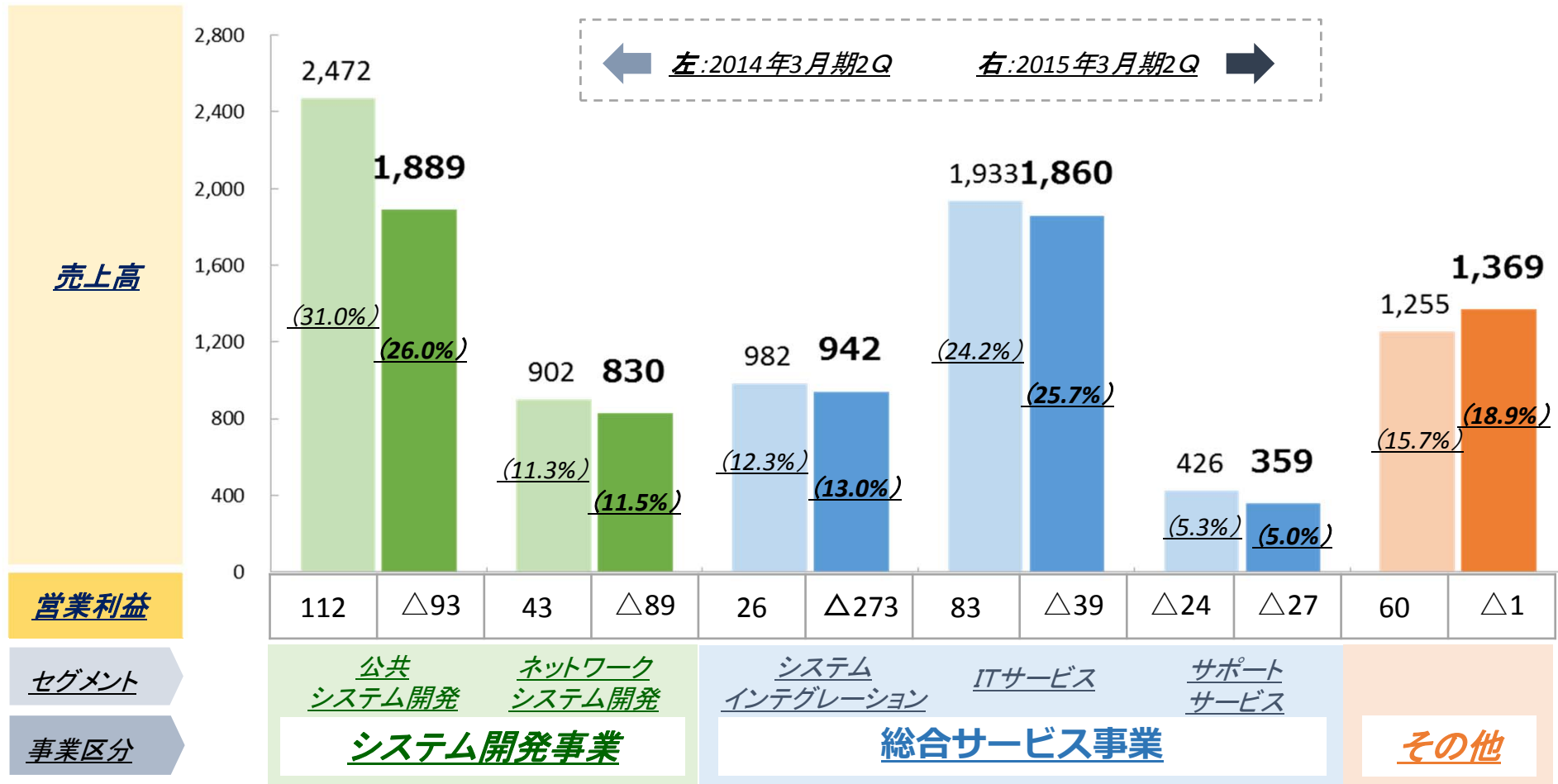
2015/3期
2Q

マトリクス体制による新たな不採算案件の抑制



事業区分別（セグメント別）業績ハイライト

(単位：百万円)



* 上記の業績数値は、セグメント間で発生した取引を除いた売上高を記載。

* 「その他」：報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、拠点として地域性をもち独立した経営単位のセグメント、および機器販売等

B/Sハイライト (連結)

(単位：百万円)

	2014年 3月末	2014年 9月末	増減額
流動資産	5,433	4,850	△583
固定資産	3,990	4,023	32
資産合計	9,424	8,873	△550
流動負債	2,418	2,598	180
固定負債	1,240	1,062	△177
負債合計	3,659	3,661	2
純資産合計	5,764	5,211	△553
負債・純資産合計	9,424	8,873	△550

主な差異要因

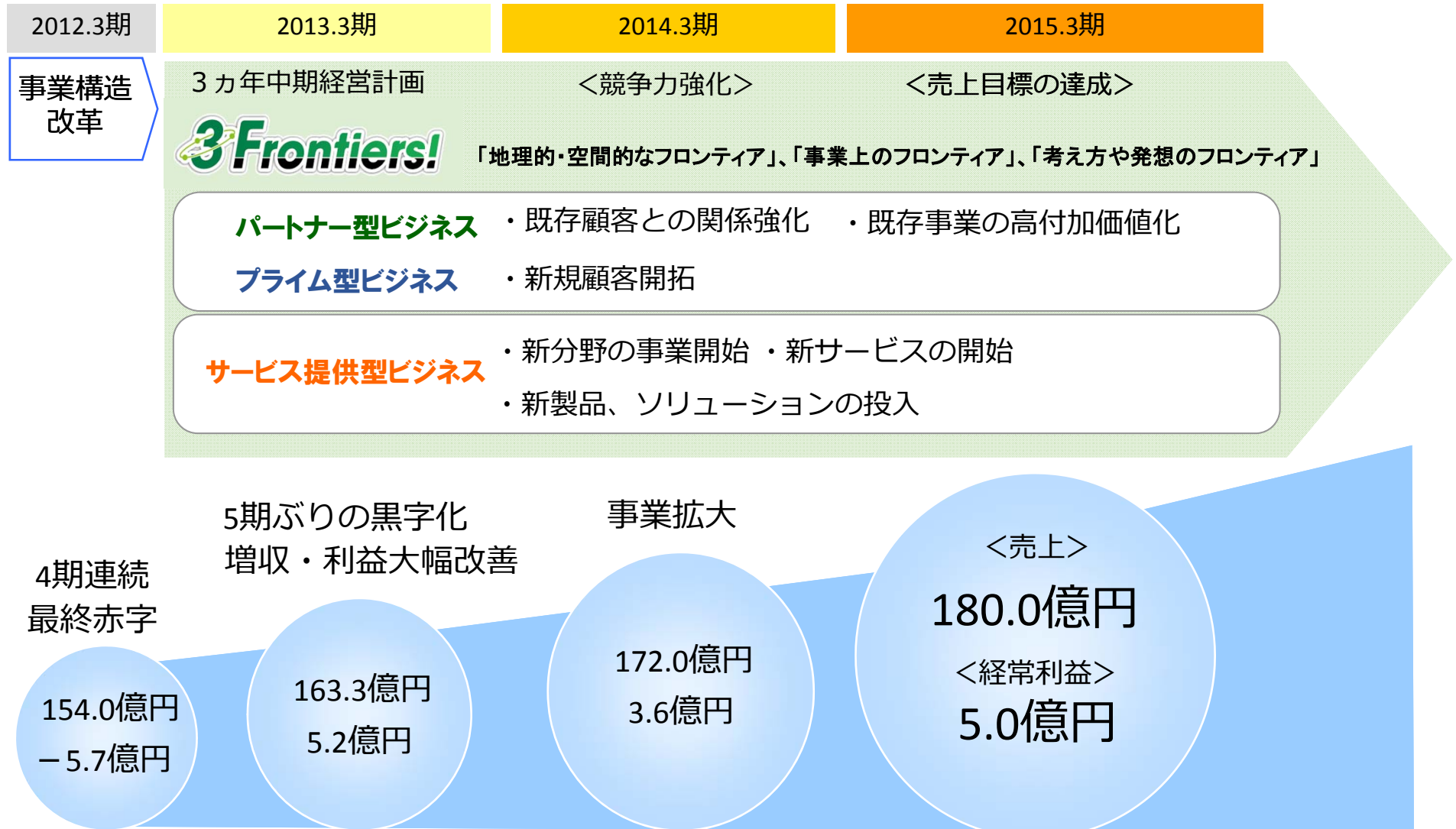
仕掛品は増加したが、売掛金の回収による減少により、前期末比550百万円減少

買掛金の減少、長期借入金の約定弁済により減少したが、短期借入金の増加により、前期末比2百万円増加

四半期純損失の計上により、前期末比553百万円減少（自己資本比率58.7%）

中期経営計画の進捗状況

中期経営計画「3 Frontiers！」のもと、事業領域の拡大や成長分野を開拓



2015年 3月期 2Qの主な成果

ビジネススタイル	主な成果
パートナー型ビジネス	<ul style="list-style-type: none">● 運輸系の大型リプレイス案件および新規案件の獲得
プライム型ビジネス	<ul style="list-style-type: none">● 大手企業より広告業務取扱システムを受注● 総務省実証事業 青果市場における物流トレーサビリティシステムを落札● 宮城県亘理町にスマートアグリを導入

2015年 3月期 2Qの主な成果

ビジネススタイル	主な成果
サービス提供型ビジネス	<ul style="list-style-type: none">● 経産省 健康寿命延伸実証事業に参画 ⇒(株)フジクラ様との連携で当社のLifeRouteを基盤としたプラットフォームを構築予定● 電子錠システム「CLIQ」の導入が堅調● 東北支店が東北福祉大学（関田教授研究グループ）と共同で「医療安全管理モニタリング情報システム」を開発● シンクライアント用仮想USBデバイス統合管理ソフト「VUMS」で株式会社シンクライアント・ソリューション総合研究所（TC SI）と提携

事業環境認識・下期の取り組み 他

機会

- 国の成長戦略の柱としてIT戦略が策定
⇒6月世界最先端IT国家創造宣言および工程表の改定版が閣議決定
 - ・ 番号制度の利活用（マイナンバー制度）
 - ・ 国・地方を通じた行政情報システムの改革 など
- 2020年東京オリンピック開催に向けたインフラ投資の拡大
- モバイル、タブレット端末市場の急速な拡大にともなうIT活用形態の多様化

課題

- 人材不足（S E）下でのプロジェクト運営

新規案件の確実な受注と売上確保

- ・計画外の新規案件の引き合いを確実に取り込む

前期の売上総利益率(16.9%)まで改善

- ・高収益を見込める案件への人的資源の集中
- ・プロジェクト管理の徹底による製造原価の低減

販管費削減の徹底

営業強化のための営業体制再構築

- ・地方グループ子会社や複数のパートナー企業との連携による一貫した営業戦略に基づく販売体制を整備

SI・システム開発の新しいやり方を検討開始

- ・生産性向上による人材不足の解消、システム開発事業の強化
- ・新しいSIサービス事業の創出

2015年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

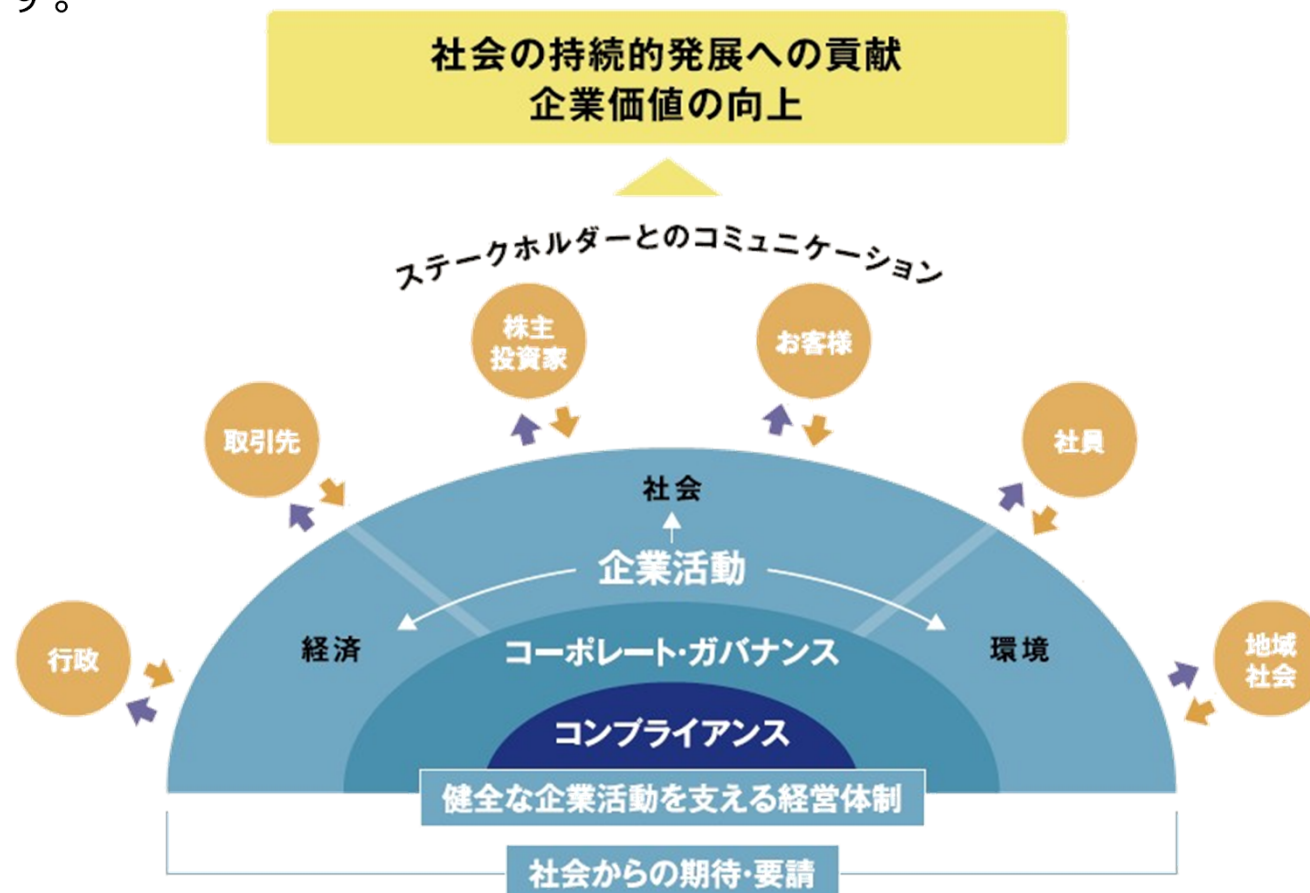
	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (予想)
売上高	16,333	17,200	18,000
経常利益	525	367	500

CSR（社会・環境活動への取組み）

社会や顧客に信頼されるとともに成長を期待される企業へ

1 社会や顧客に対し、最適な商品やサービスを提供し、そのために常に先端技術の探求と普及に努めてまいります。

2 上場企業として社会的責任を十分に認識し、積極的にコンプライアンス（法令順守）を推進いたします。



御清聴いただきありがとうございます



お問い合わせ

E-Mail: ir@keyware.co.jp

TEL: 03-3306-3799

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。

參考資料

会社概要

社名	キーウェアソリューションズ株式会社		
事業内容	1. システム開発事業 (アプリケーションシステムの構築に関する業務、および、インフラ関連のシステム開発に関する業務) 2. 総合サービス事業 (システムインテグレーション業務/サポート・サービス業務/販売業務/パッケージ業務)		
代表者名	代表取締役会長	村上 優	
	代表取締役社長	三田 昌弘	
設立	1965年5月		
資本金	17億37百万円		
売上高	172億円 (2014年3月期・連結)		
従業員数	1,044名 (2014年3月末現在・連結)		
主要法人株主	<ul style="list-style-type: none">・日本電気株式会社 (35.02%)・株式会社ジェイアール東日本情報システム (2.63%)・日本ヒューレット・パッカード株式会社 (2.63%)・株式会社三井住友銀行 (1.10%)・住友生命相互保険会社 (1.10%) (2014年9月末現在)		
連結子会社	キーウェアサービス株式会社 キーウェア北海道株式会社 キーウェア西日本株式会社 キーウェア九州株式会社 株式会社クレヴァシステムズ		

企業理念

事業領域

情報技術に関する全てを事業領域とします。

企業風土

個人の個性と能力を発揮する事に価値を置きます。

社会的役割

創造性に富んだ情報技術によってお客さまの要求を超えたソリューションを提供し、お客さまの夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。

企業スローガン

IT can create it.
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

沿革

Phase1

技術者派遣、受託開発で
実績と評価を獲得

- 1965年 コンピュータの総合コンサルティング会社として日本電子開発株式会社設立
- 1974年
 - ・事務処理ソフトウェアモジュール技術研究代表組合理事となる
 - ・宇宙開発事業団試験ロケット打ち上げをソフト部門で支援協力、宇宙開発分野でのソフトウェア開発事業を確立
- 1988年
 - ・SI企業（第1期認定企業）として通商産業省より認可

Phase2

総合サービスによる
高付加価値事業へ

ロータス、SAPジャパンなど最新技術を持つテクノロジーパートナーと協業を開始

- 1991年
 - ・ヘルプデスクサービス事業を開始
- 1994年
 - ・ソリューションセンターを開設しオープンシステム技術開発・蓄積に取り組む
 - ・ロータスノーツなどのISV認定技術教育事業の開始
 - ・SAPジャパン社との協業により、ERP（R/3）事業立上げ
- 1995年
 - ・フィールドサービスセンターを設置し、コンピュータ保守事業を立上げ
 - ・社内のメール/情報共有環境としてロータス・ノーツ 導入開始

Phase3

ITソリューションプロバイダーとして
更なる進化

ISO9001、プライバシーマーク、ISMSを
業界の先駆けとして、認証取得し、
他社をコンサルティングできる体制を確立

- 1999年
 - ・品質マネジメントシステム（ISO9001）を全社で認証取得
 - ・SAP R/3自社導入
- 2000年
 - ・プライバシーマーク制度認証取得
 - ・三菱商事、ジェイアール東日本情報システム、日本HPより 資本参加を受けパートナー関係強化
- 2001年
 - ・社名をキーウェアソリューションズ株式会社に変更
 - ・SAPジャパンより、SAP AWARD OF EXCELLENCE 4年連続受賞
 - ・キーウェアサービス(株)設立
- 2002年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（本社）
 - ・キーウェアマネジメント(株)設立
- 2003年
 - ・情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得（グループ全体）
 - ・キーウェア北海道(株)、キーウェア西日本(株)、キーウェア九州(株)設立

Phase4

ユビキタス時代にむけた
積極的な取り組み

ユビキタス社会に向け、
異業種とパートナー契約を締結

- 2003年
 - ・NTTドコモ ソリューションマーケティングパートナー契約締結
- 2004年
 - ・アイ・ティ・フロンティアと共同で中国でのSAP R/3アドオン開発開始
 - ・日本電気 UNIVERGEアプリケーションパートナー認定取得・EAコンサルティング事業開始
 - ・シービヨンド・テクノロジー・コーポレーション コンサルティング・パートナー契約締結
- 2005年
 - ・日本電気 UNIVERGEセールspartnerダイヤモンド認定取得
 - ・keyCOMPASS事業開始
 - ・IP電話事業開始
 - ・IDSシェア・ジャパン ARIS PPMパートナー企業
 - ・環境マネジメントシステム（JISQ14001：2004（ISO14001：2004））認証取得
- 2006年
 - ・ジャスダック証券取引所に株式を上場
 - ・資本金を17億37百万円に増資
- 2007年
 - ・「GO-Global」を利用した新世代シンククライアント・ソリューションの提供を開始
 - ・IT業界向け人材派遣事業をスタート
- 2008年
 - ・東京証券取引所第2部に株式上場
 - ・株式会社クレヴァシステムズを子会社化
- 2009年
 - ・東京証券取引所ディスクロージャー新人賞を受賞
- 2010年
 - ・株式会社NTTデータイントラマートとBizjソリューション販売に関する特約を締結
 - ・「Bizj AWARD 2010 秋」「Excellent Project Partner's Award」を受賞
- 2011年
 - ・日本オラクル株式会社と「Oracle Exadata Database Machine」導入コンサルティングサービスで協業開始
 - ・IFSジャパン株式会社とビジネスパートナー基本契約締結
- 2012年
 - ・「キーウェアマネジメント株式会社」を吸収合併
 - ・東北支店を開設

事業内容

ユビキタス社会の実現を担うキーウェアソリューションズ



異業者間精算業務

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務などのノウハウを有しています。

たとえば

Suica、PASMOなどのICカード利用



電話帳紙面配置管理に関するノウハウ

電話帳掲載情報の核となるお客様情報システム、広告・販売支援システムなど、中核業務に関するシステムを開発しています

たとえば

大規模顧客データベース、顧客管理、広告販売、コールセンター業務



交通管制 (ITS) および 交通局旅客案内システム

新交通管理システム (UTMS) に関するノウハウと、列車運行案内に関するネットワークシステムのノウハウなど、公共性の高い交通システムのノウハウを蓄積しています。

たとえば

駅のホーム用車両接近状況表示、行先案内表示、緊急案内表示



ニュース配信システムに関するノウハウ

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社及び新聞社など複数の事例を手がけています。

たとえば

野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報の配信システム



ネットワーク事業者の顧客管理業務、 通信料金算出業務

ネットワーク事業者の顧客料金システム開発に20年以上にわたって携わっています。通信料金を計算して各センタに設置されている料金明細センタへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

たとえば

一般電話 (NTT)、携帯電話の通信情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理、請求管理、収納管理、基幹システムとの連動などに関する業務ノウハウ



航空路管制関連通信

通信入出力DUAL (二重構造) 制御やスポット管理全般の特殊なノウハウを駆使して構築するシステムを開発しています。

たとえば

航空路管制システム



医療システム

医療、IT分野における長年の実績をもって、病院や検査センターにおける各種医療情報システムへのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。

たとえば

オーダーリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、院内感染監視システム



経営とITの 統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運用までをシームレスかつ全面的に支援しています。

たとえば

経営コンサルティング、IT実行環境の最適化



ERPソリューションの提供

導入コンサルティングから構築、運用にいたるまで、豊富な実績に裏付けられた付加価値の高いソリューションを提供しています。

たとえば

ERPトータルサービス運用、ビジネス・プロセス改善

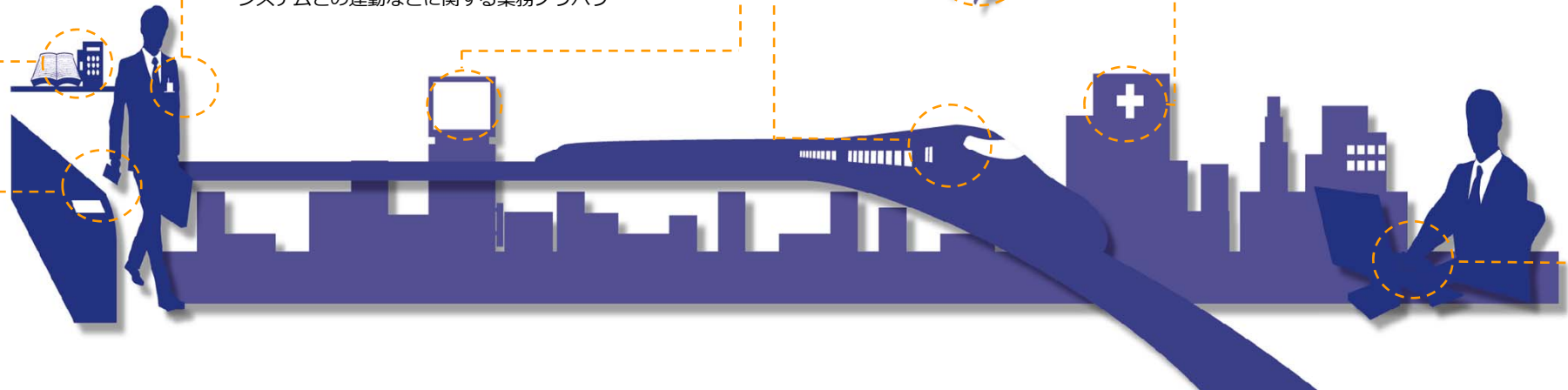


情報セキュリティ

ハイブリッドシンクライアントは、独自の高速プロトコルによりネットワーク負荷が低く、既存PCをそのまま活用でき、初期導入コストを劇的に低減することが可能。情報漏えい対策にも効果を発揮します。

たとえば

内部統制対策



事業内容（強み・ビジネスモデル）

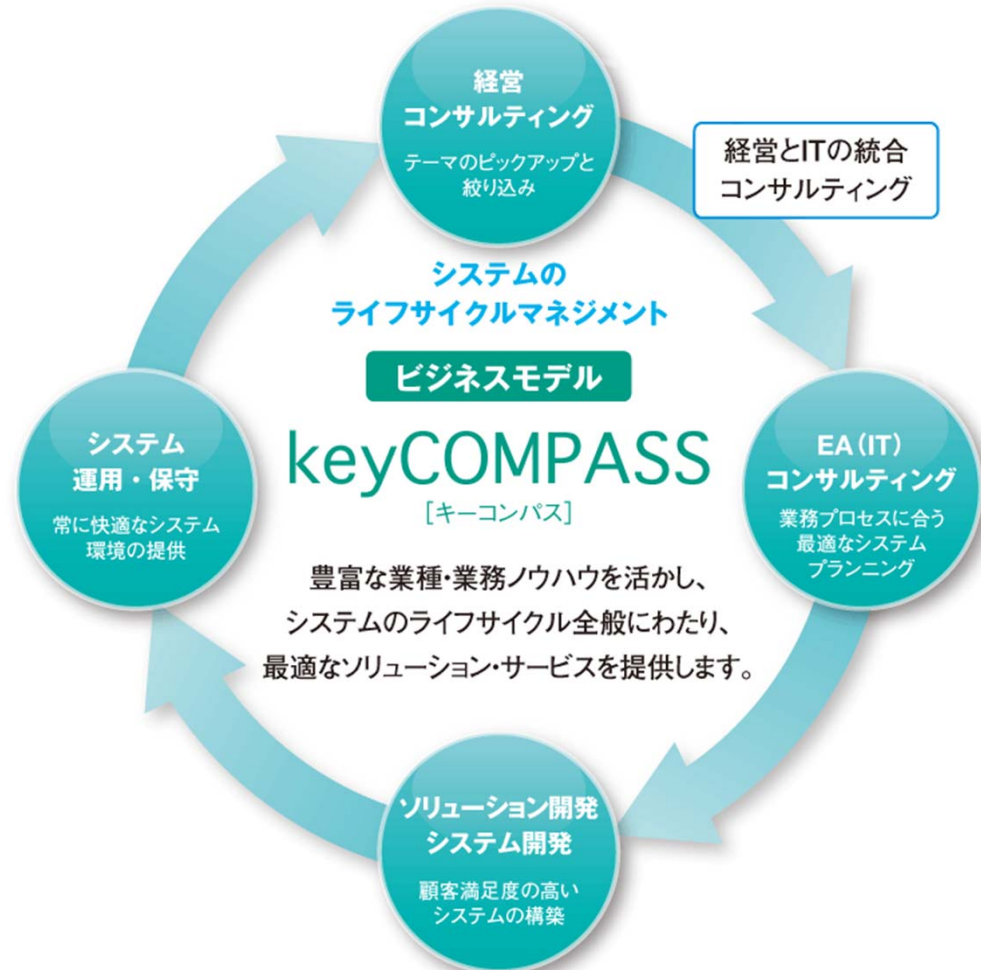
キーウェアの強み

当社は45年以上にわたり、官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造分野等、多様な分野において、社会インフラを支える情報システム構築に携わってまいりました。数多くの実績を通じ培った豊富な業種・業務ノウハウと、ERP、監視制御、フロントエンド、SOサービス等といったさまざまなITソリューションを駆使することで、お客様のニーズに応える最適なソリューションをご提供します。

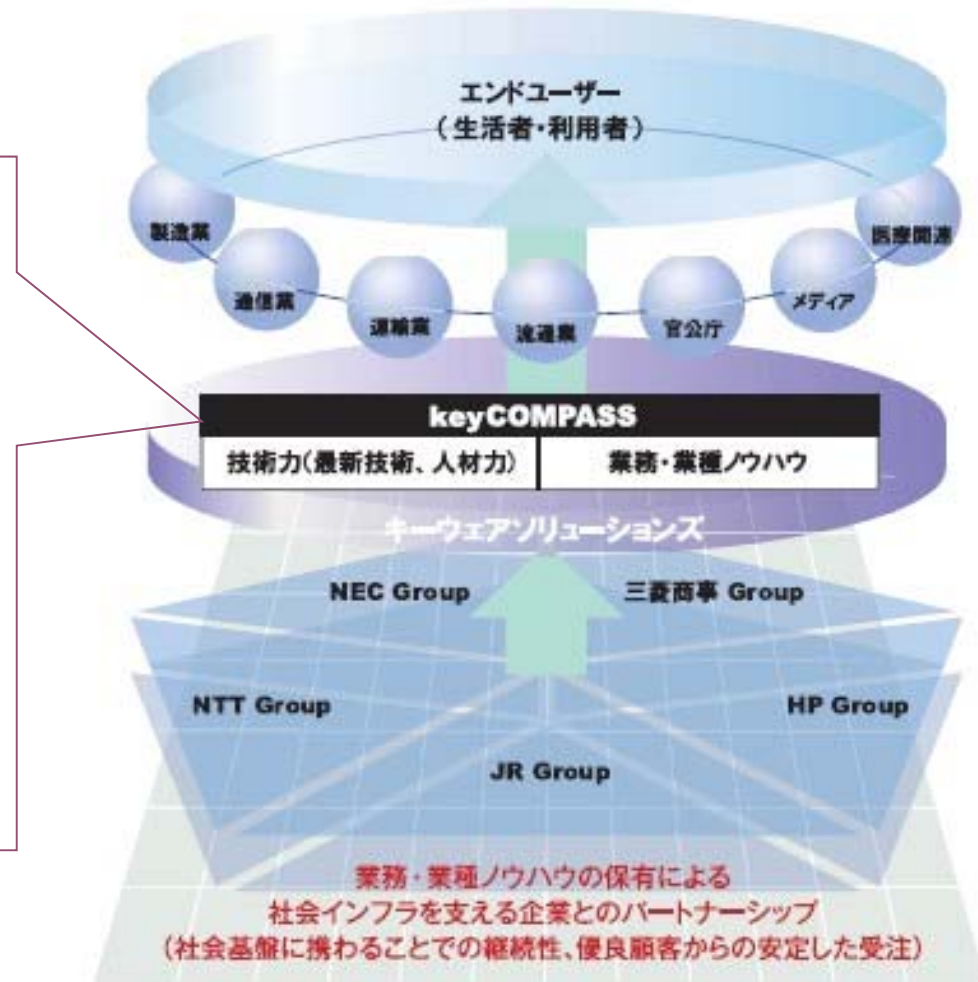
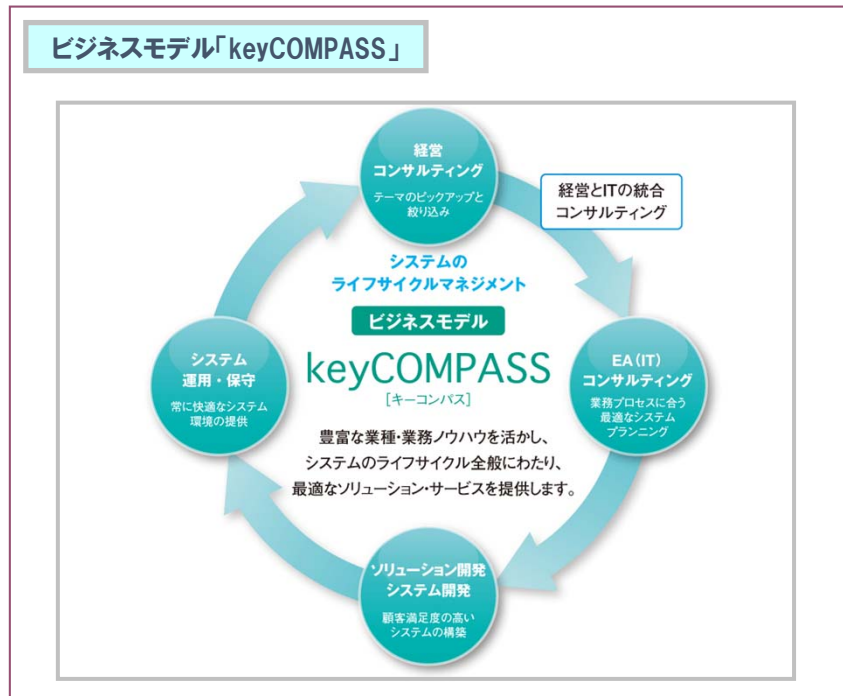
さらに最新の技術を活用することで、プライベートクラウド、ホスティング、SaaS/ASPサービス等、変化の激しいビジネス環境に柔軟に対応できるソリューションをご提案します。

ビジネスモデル 「keyCOMPASS（キーコンパス）」

当社のビジネスモデル「keyCOMPASS（キーコンパス）」は、当社の強みでもある、これまで培った技術力と豊富な業種・業務ノウハウを活かし、経営戦略の立案から、IT導入・構築・運用まで、一連のシステムのライフサイクル全般にわたり、各フェーズに最適なサービスを提供します。付加価値の高い一貫したサービスによりお客様の経営課題の解決や効率的・効果的なIT活用を支援いたします。



事業内容（強み・ビジネスモデル）



keyCOMPASS(キーコンパス)

：経営とITの統合コンサルティングからシステム運用・保守まで、事業間の連携を重視し、高い収益性を実現するための当社のビジネスモデル。

用語説明

ERP

： Enterprise Resource Planningの略。統合業務パッケージと呼ばれ、受注・販売管理、在庫管理、生産管理、会計といった企業の基幹業務をサポートする情報システムパッケージ。

EA

： Enterprise Architectureの略。戦略と業務を一体化した全体最適を実現する理想モデルに向け、時間経過も含めた総合的な全体設計図を作成し、随時改編し、再構築していくことによって、全体の円滑で効率的な運営を可能にするもの。